

第4図 地球自転速度と月の平均運動の永年変化
(ニュートン 1969年による)

核・マントル間の電磁的結合力の変化が反映しているのではなかろうかと考えて詮索したくなる。

フォーザリングムやスペンサー・ジョーンズの得た \dot{n}_M の値に次いで、紀元前数世紀の頃までの \dot{n}_M や $\dot{\omega}_e$ の値がニュートンによって求められたことになる。これらは大昔の記録を使って求められているが、使われた記録の中には日本のものはなく、さびしさを感じる。平安朝の女性の手になる日食の記録でもあると、優雅なことこのうえもないのであるが。

第4~6章は R. R. ニュートンの天文古記録と地球・月の永年変化という論文のプレプリント (1969) を参考にして書いたことを附記する。

学会だより

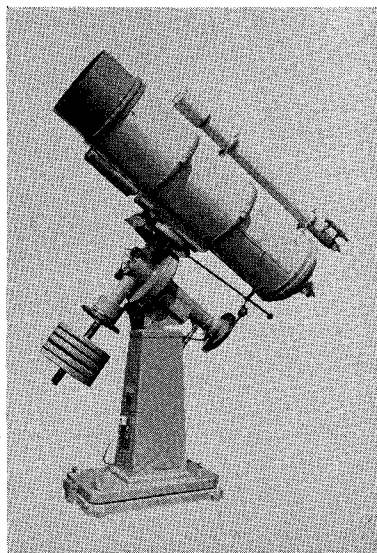
科学研究費配分委員候補者

日本学術会議研究費委員会より標記の件について依頼がありましたので、本学会として評議員の書面投票により下記の候補者を推薦致しました。この推薦にもとづき文部省が任命する委員数は1名です。

第1段委員候補 河鱒公昭, 川口市郎。

日本学術会議中央選挙管理会臨時委員

日本学術会議中央選挙管理会より46年11月の選挙にそなえて臨時委員を推薦するよう依頼がありましたので、理事会の了承によって牧田貢氏を推薦致しました。



天体望遠鏡
ドーム, 製作

西村製の天体望遠鏡

40 cm 反射望遠鏡の納入先

- | | |
|--------|---------------------|
| No. 1 | 富山市立天文台 |
| No. 2 | 仙台市立天文台 |
| No. 3 | 東 京 大 学 |
| No. 4 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 5 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 6 | 台北天文台 (TAIWAN) |
| No. 7 | 北イリノイズ大学 (USA) |
| No. 8 | サン・デューゴ大学 (USA) |
| No. 9 | 聖アンドリウス大学 (ENGLAND) |
| No. 10 | 新潟大学高田分校 |
| No. 11 | ソウル大学 (KOREA) |
| No. 12 | 愛知教育大学(刈谷) |

606 京都市左京区吉田二本松町 27

株式会社 西村製作所

TEL. (075) 771-1570
691-9580